

## ②電力削減可能性分析

### 工場（製造業）

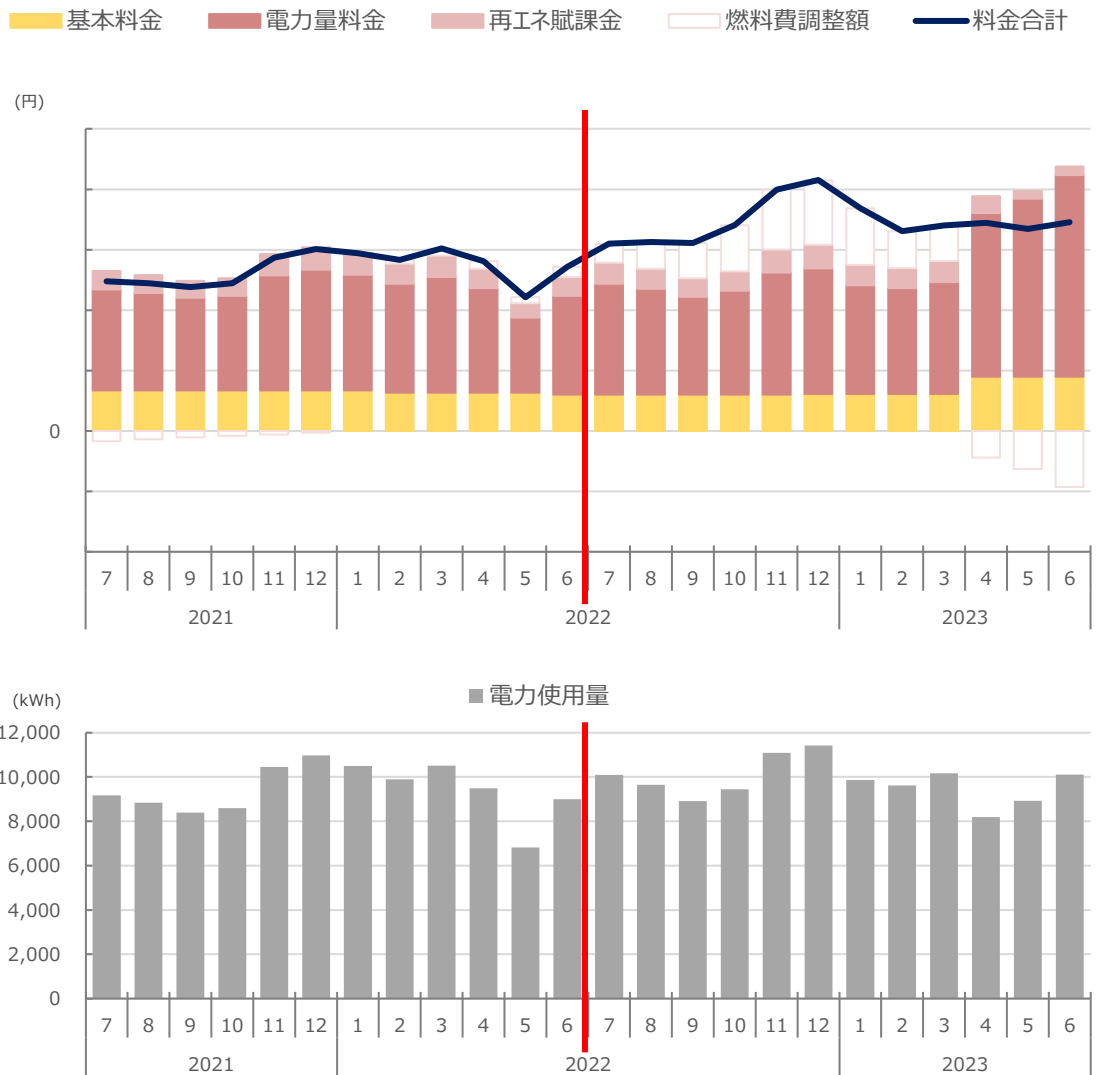
## 1.電力需要

### ①電力使用状況（2022.7～2023.6）

年	月	契約電力 kW	実最大電力 kw	力率 %	電力量 kWh
2022	7	49	46	100	10,100
	8	49	45	100	9,640
	9	49	40	100	8,910
	10	49	46	100	9,447
	11	49	45	100	11,095
	12	50	50	100	11,414
2023	1	50	47	100	9,866
	2	50	47	100	9,621
	3	50	45	100	10,163
	4	50	39	100	8,192
	5	50	44	100	8,924
	6	50	41	100	10,113
合計					<b>117,485</b>

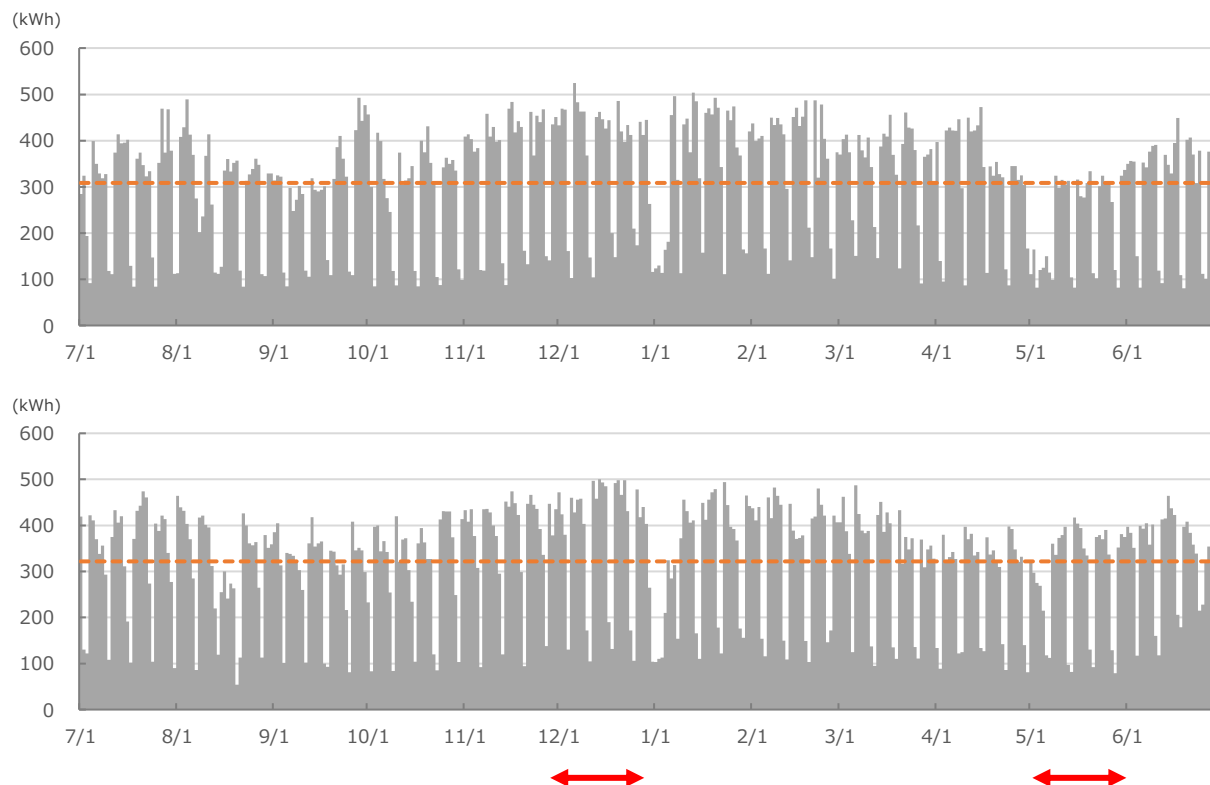
## ②電力使用量と料金の推移（2021.7～2023.6）

- 電力料金のうち、基本料金は約2割で、残りの8割は電力量料金等となっています。
- 2023年4月分から、プラスに転じていた燃料費調整額がマイナスになりましたが、それと併せて料金単価が大きく値上がりしたため、電力料金が徐々に上がり始めている状況です。
- 月別の電力使用量は、11月～3月ごろまでの冬季が他よりも多い傾向で、4月・5月は少ない傾向があります。



### ③日別の電力需要 (2021.7~2023.6)

●稼働日と休業日で電力需要が大きく異なります。どちらともおよそ一定の値ですが、夏季よりも冬季の方が、電力需要が若干多い傾向です。



#### ④時刻別の電力需要（2022.12 および 2023.5）

- 時刻別の電力需要は、年間を通じてほぼ一定で、6 時頃～20 時頃までの間に集中しています。また、昼休みと思われる 12 時～13 時は電力需要が下がっています。
- 休業日である土・日曜日は電力需要がほとんどありません。

